校訓 渾身勉学 白鳥蘆花に入る

学校教育目標
夢に向かって、気づき・考え・行動する 児童の育成

白鳥

令和８年度
千代田東部小学校学校だより
NO.12
令和８年 6月19日
文責 筒井 学

「湖人と次郎は似ていますか？」



６月９日（火）３.４校時　１年１組と２年１組で、下村湖人生家の館長 島 英彰先生をお招きして次郎物語学習会が行われました。前半は、プレゼンテーションを見ながら、下村湖人先生や次郎物語のことについて考えました。

写真は、下村湖人先生と登場人物の次郎の似ている点と異なる点について考えているところです。

その後は、１年１組は渡辺先生、２年１組は高橋先生から紙芝居（１年「北極星」２年「そろばん」）の読み聞かせをしてもらいました。

紙芝居は、島先生が手作りされたものです。子どもたちは物語に引き込まれるように聞き入っていました。ご家庭でもこの機会に「次郎物語」を手にとって話題にしていただけるとありがたいです。

ボランティア集会



６月１１日（木）ボランティア集会を行いました。「白鳥 蘆花に入る」の意味を確認したり、どんな行動がボランティアなのかを考えたりしました。今後、子どもたちがどんなボランティアに取り組んでくれるようになるのか楽しみです。

もし、真剣に訓練しなかったら・・・

６月１２日（金）５校時　全校で地震・津波対応のための避難訓練を行いました。まず、地震の後、建物の倒壊などから逃れるために運動場に避難しました。その後、津波が来ているという情報が入り、校舎の屋上へ避難場所を変更するという流れで行いました。不審者対応のための避難訓練の時と同じ「お・か・し・も・ち」（おさない、かけない、しゃべらない、もどらない、ちかづかない）を合言葉に取り組みましたが、今回は残念ながら少しおしゃべりが聞こえました。勉強でも運動でもいきなり本番だとうまくいきません。真剣に訓練していなかったら、災害時に安全に行動することは難しいと思います。２学期の火災対応のための避難訓練の時には、今回の反省を活かし、事前の指導を大切にしたいと思います。



糸通し、玉止め、玉結び



６月１２日（金）１.２校時 おむすびチームの方々が来校され、５年１組の家庭科の授業の支援に入っていただきました。裁縫に初めて取り組む５年生にとって、針に糸を通したり、玉止めや玉結びをしたりするのは大変難しいことです。しかし、おむすびチームの方々が班に１人ずつ入っていただけたので、間近で手本を見たりアドバイスをもらったりすることができました。

次郎とのふれあい集会・１年生引き渡し訓練

６月１４日（日）は、ご参観・ご協力ありがとうございました。紙面の都合により、「次郎とのふれあい集会」や「１年生引き渡し訓練」の記事は、No.１３に掲載しようと考えています。